



さとやま

1. 表紙 (秋の雑木林の林床)
- 2.3. 雑木林応援隊 (草木染め教室)
- 4.5. 樹木リサーチ事業
平成 26 年度樹木管理活動の計画と取り組み
6. 里山保全エコアップ活動
クラフトプロジェクト (秋祭り「木工体験」に向けて)
7. 身近な樹木 No31 ヤマハゼ
8. 裏表紙 (紅葉する柿の葉)

特定非営利活動法人うしく里山の会 広報誌 No.128



さとやま 2014 年 秋号 (通巻 128 号)

■発行 特定非営利活動法人うしく里山の会
〒300-1236 茨城県牛久市田宮町 808-20
tel 029-873-8552 fax029-873-8552
■事務局 牛久自然観察の森内
tel 029-874-6600 fax029-874-6812
<http://ushiku-satoyama.org/>
■編集 木谷 昌史

草木染め教室

雑木林応援隊は一年に三回公開講座を開いています。一月の炭焼きに続き今回は草木染め教室を開きました。八月二十四日、まずまずの天気恵まれ炭窯前で青空の下での草木染め教室です。二十名の方が参加して下さいました。八月のこの季節にするのは藍の花が咲かないうちが大切だから。秋になって花が咲いてしまうと染める力が落ちてしまうとか。夏限定の藍の生葉染めです。

まず藍を鎌で刈り取る場所から始めます。この藍は「森の畑」の方たちが草を取ったり肥料をあげたりして育ててくれました。今年はハムシの被害に遭い少し心配しましたが当日までにはこれだけあれば大丈夫というくらい大きくなりました。桃色や白の花が終わった後、毎年毎年種を落とし冬を越して春、忘れずに芽を出してくれます。大事な貴重な藍です。

刈り取った藍をじゃぶじゃぶと水洗い。葉と茎を分けて葉だけを適量の水と共にミキサーにかけます。それを大きなナイロンの漉し布で漉すと染液の出来上がり。



その中に白い絹のスカーフを入れると最初は

葉っぱの緑、広げて空気に触れさせ水洗いすると水色より濃いきれいな藍の生葉色に変身。染め上がった順から木、と木に渡したロープに陰干し。みなさんの何枚ものスカーフが森の緑の中風に揺れています。なかなかいい風景です。絹のスカーフの他に木綿のハンカチや持参されたTシャツ等を西洋茜、マリーゴールド、えんじゅ、びわ、玉ねぎの皮等々で染めてみました。七輪四つに鍋をかけて染めてみたいと思う材を煮出します。その中に布を入れると、植物の持っている色素が布に移ります。

ミウバンや石灰によって色が強くなったり全く違う色になったりします。何だか不思議です。合成染料が出てくるほんの百何十年前までは身近な植物を使ってこんなふうに染めていたんですね。木々に渡したロープには藍の生葉色の他にあかねの夕

焼け色、マリーゴールドの鮮やかな黄色、えんじゅのレモン色などが加わりカラフルになりました。今日一日の成果が干されているロープの布たち。とても綺麗でした。朝九時半から始まり絹を染めたり木綿を染めたりしているうち昼食の時間が近づいてきました。お昼は恒例の流しそうめん。流す台から手作りです。むじなの里でこれぞという竹を切出します。前日からの大仕事です。Iさんを中心に職人技が光ります。お昼の準備は男性陣が担当。応援隊のメンバーと合わせ約三十五人分のそうめんを大鍋で茹で、水で洗いそして流す。茹で上げられたそうめんは切り出したばかりの爽やかな竹の中を水と共にすると流れます。軽トラックの荷台も大活躍。森の畑のみようがや紫蘇など



の薬味、つゆ、おわん、はしが並びます。トマトや梨、差し入れのブルーベリーも皆さんおわんと箸を持って流れて来るそうめんを上手く掴んで美味しそうに食べてくれました。四歳になったばかりという男の子もお母さんと一緒に楽しそう。お外でみんなで食べるそうめんは美味しかったですね。

こうして藍の葉を使ってこの季節に染めを楽しむようになって早くも十一年。広報で参加者を募ってみなさんと楽しむようになって六年。至らぬ点多々あったかと思いますが前回に引き続き今年もと参加して下さいました方が多かったという事、二十人の申し込みがすぐ埋まってしまったという事は嬉しい事です。開催する側の励みになります。

参加して下さいました皆さん。今日は一日ありがとうございました。それぞれ思い思いに染めた布を手に笑顔で帰られる姿を見て私達も嬉しかったです。無事に終わって良かったと安心しました。

次回は十月の「つるかご編み」です。またまたひと頑張りです。(竹越 直美)

樹木リサーチ事業

平成 26 年度樹木管理活動の計画と取り組み



2. 著者による「市民の木 No.15 スダジイ」の脱落枝の切断作業
14.9.20

「市民の木」を中心とした樹木の生育環境の改善管理活動を「巨木リサーチ事業」から引き継ぎ、平成25年4月から3年間継続しています。今年度は2年目で2回、3か所実施予定です。

今年度の第1回目は5月17日（土）牛久幼稚園隣接の上柏田日枝神社境内でした。ここには、「市民の木 No. 6 スダジイ（ブナ科）」と「No. 7 スギ（ヒノキ科）」があります。気温2

4℃・快晴、作業には快適な気候、2年目でヘルメット姿も板に付いてきた樹木リサーチメンバー11名が参加、作業をしました。上柏田日枝神社境内はマダケが多く伐採、担ぎ出し、等分に切断（写真1）、竹林の奥への搬出、それと林床の雑木、雑草の刈り取りを行いました。環境を大きく変化させて「市民の木」の生育に影響を与えないように、現代には珍しく機械力を一切使

わずもつばら人力、鋸、刈込鋏だけの作業、騒音はないけれど、きつく、疲れる作業です。近隣の皆様も手入れされておられるようで、境内が明るくなってきたおり、下草は鳥が運んできたシロなどに種類が代わってきています。今年はとくに「市民の木 No. 6 スダジイ」が地味ですが見事な花を咲かせてくれました。これも巨木リサーチ事業で、最初うっそうとした竹林の中から「市民の木」の「スダジイ、スギ」

を救出した管理作業6年間の成果が表れたと思われれます。毎年の地味な作業が必要なものと改めて感じつつ来年も継続しなければと感じました。平均年齢が高いメンバーながら無心で一心不乱に作業を実施し、休憩をとりながら約2時間で無事終了することが出来ました。一生懸命の証拠か、鋸の切れ味が悪くなり、更新して貰いたい程になりました。

第2回目は9月20日（土）気温21℃・曇、作業には快適な気候。久野町鹿島神社飛地の「市民の木 No. 15 スダジイ」でした。メンバー12名が参加、市からは新しい鋸6丁が支給され切れ味よく、効率的に作業を進めることができました。脱落枝の整理（写真2）、マダケの伐採整理をした後、次の島田町三峰神社の「市民の木 No. 2 スダジイ」に向かいました。ここは、積雪によるスダジイの

脱落枯損枝が多く作業にかなり労力と時間が掛りそうでしたが、おりしもスズメバチが出現し、巣が落下枝の間にありそうなの

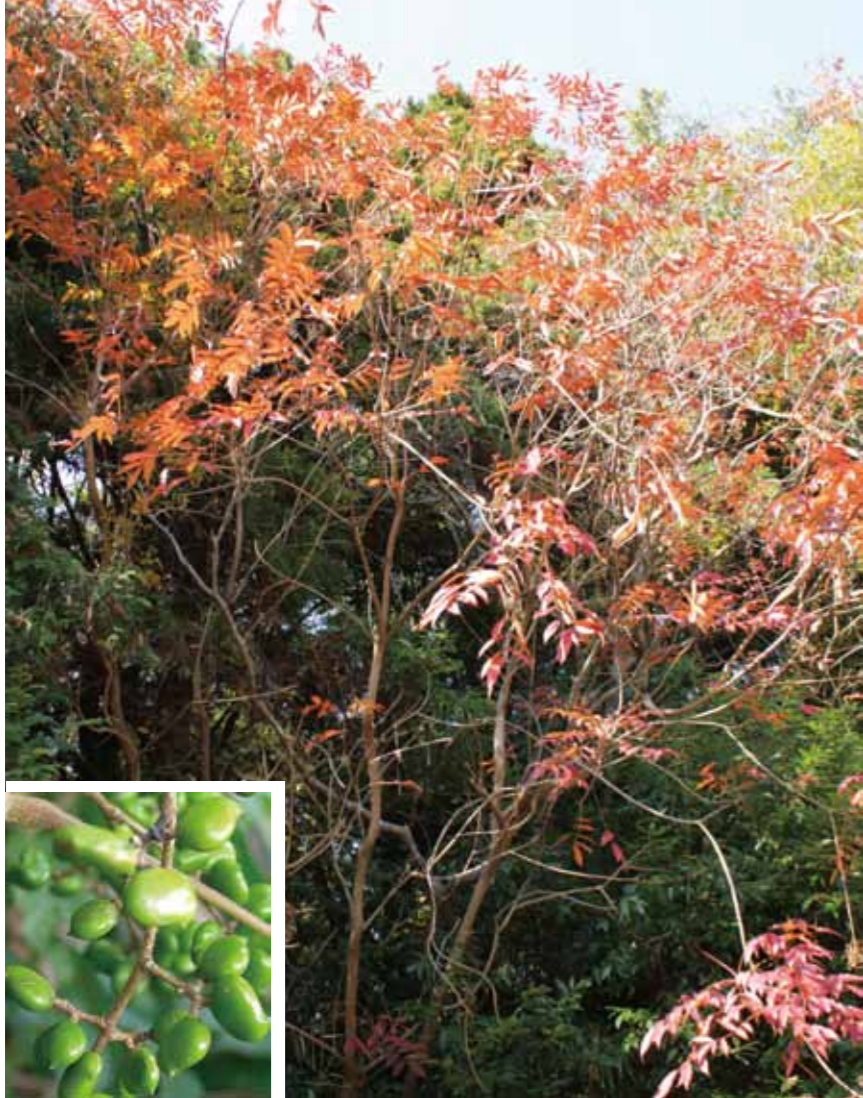
で、急遽作業を中止、来年5月に延期しました。作業が早く終わったので、島田町永沼家の「市民の木 No. 27 ケヤキ（ニレ科）」と「同 No. 28 ムクノキ（アサ科）」を観察しました。永沼家の皆様には毎度ながら接待頂き、有難うございました。

「市民の木」に指定されている樹木の中には、管理不十分で生育が悪くなっているものがあるようです。私たち樹木リサーチメンバーでは人手不足で手が回りません。参考資料①に詳細な「市民の木一覧マップ」があります。関心がある方は、一度回って見られることをお勧めします。（齊藤 英夫）

参考資料等①：牛久市・市民の木ガイドマップ、発行：牛久市役所建設部緑化推進課（平成24年3月）
同②樹木の科名はDNAによる分子系統学的分類体系（APG分類）にしたがいました。



1. 著者による上柏田日枝神社境内でのマダケの切断作業
14.5.17 戸塚



紅葉期の樹冠（戸塚 上太田町斜面林 12.11.14）
と成熟前果実（渡辺 03.10.10）

身近な樹木

No.31 ヤマハゼ

ウルシ科ウルシ属の落葉広葉樹の小高木（高さ5〜6m）で、写真のように秋には美しく紅葉します。本州（関東地方以西）、四国、九州の山地、林縁に分布しています。本県が分布の北限で、市内では日当たりの良い斜面林や雑木林の林縁等に自生しています。樹皮は暗褐色で皮目があり、短冊状に薄く剥がれます。葉は互生し奇数羽状複葉、長さ20〜40cm、小葉は9〜11対あり、卵状長楕円形、全縁、両面に短毛が散生します。

雌雄異株。5〜6月に枝先の葉腋から円錐花序を出し、黄緑色の小さな花を多数つけます。果序は垂れ下がり、果実は写真のように扁球形で径7〜8mm、無毛（ヤマウルシは有毛）、黄褐色で光沢があり、脂肪を含みます。市内にはその他のウルシ属のツタウルシ、ヌルデ、ヤマウルシが自生していますが、ヤマハゼはヤマウルシより多く見られます。蠟をとる中国渡来のハゼノキは市内には野生していませんが、紅葉観賞木として植えられています。ハゼノキの葉は無毛のため、有毛のヤマハゼと識別できます。これらの樹木にカブレないよう注意が必要です。ヤマハゼは「はじ」の別名があり、古代には「はにし」と呼ばれていたものが、転じてハゼとなり、山にあるからヤマハゼの名がつけられたと思われま

里山保全

結束町みどりの保全区 エコアップ作戦参加者募集のお知らせ

牛久市結束町の牛久自然観察の森に隣接する牛久市結束町みどりの保全区の森林維持管理作業を行う「エコアップ作戦」では、地域の皆さんの協力のもと、下草刈りや除間伐、風倒木の処理等を行っています。

活動には会員・一般問わず参加出来ます。皆様のご参加お待ちしております。

- 活動日時：12月5日（金）9：00～11：00 21日（日）13：00～15：00
1月9日（金）9：00～11：00 18日（日）13：00～15：00
2月6日（金）9：00～11：00 15日（日）13：00～15：00

- 集合場所 牛久自然観察の森ネイチャーセンター1階倉庫前
- 予約 不要／荒天時は中止
- 持ち物 長靴 軍手 長袖 長ズボン ※刈払機・チェーンソー使用は資格所有者のみ
- 問い合わせ先 029-874-6600（担当木谷）



クラフトプロジェクト
秋祭り「木工体験」に向けて
クラフトプロジェクトでは、11月9日開催の「うしく里山秋祭」に向けて準備をすすめています。
秋祭り当日は、「木工体験」として巣箱作り、コマ作り、本箱作りを実施予定。
次世代を担うことも達にとつて木とふれあう貴重な体験となるよう準備に追い込みをかけています。（担当：佐藤輝雄）

